



歴代最速となった梅雨明け。夏景色の農園では、暑さと乾燥の中、作物は奮闘しています。乾燥が苦手なサトイモは生育が止まっているかのような状況です。梅雨明け、夏山の季節となるとサトイモの仲間の花を思い浮かべる方もおられるのではないのでしょうか。「水芭蕉」はサトイモ科。学生に話してもほとんど通じません。水芭蕉は花卉のように目に映る白いものは苞と呼ばれる部分で、花はその中に柱状に集まっています。

学生はまもなく夏休み。農園ではブルーベリーが例年より早めに収穫を迎え、実習に来た学生が摘み取りを始めました。これからは9月に始めるダイコン組の準備です。



「ジャガイモが‘ジャガイモ’と売られている」と、北海道出身の学生が憤慨していました。品種を明らかにして売って欲しいとのこと。品種によって使い勝手が異なるからです。

先月紹介したタマネギも品種により味などに差異があります。といっても品種を理解して食べ比べをする機会はなかなかありません。2品種を持ち帰り、味の違いを実感した学生が多かったようです。作物の品種は多種多様。農園体験の中で少しでも品種による差があるということを実感してもらいたいと考えています。そして、実物により理解を深められる機会を提供したいと思います。

先頃、学生にジャガイモを持ち買ってもらった際、右の写真の緑色になったジャガイモを見てもらいました。‘ソラニン’は知っていましたが、緑に発色したジャガイモと直ぐには結び付けられない学生もいました。



農園のいたずらものにカラスがいます。先日もトマトが色づき始めそろそろ収穫ができるかなと思っていました。そんな時、トマトの周りに3羽のカラスが何やらやっていました。近づいてみると収穫目前のトマトの無残な姿が目に入りました。

住宅街にある農園ですので仕方がないことですが、収穫の不便を感じつつもネット設置しました。また、左の写真はラッカセイが受けた被害です。莢の実が膨らみだすと枝葉をかき分けて地中の莢をつつき、ラッカセイを食べていました。餌となるものをかき分ける能力が高いことを実感させられました。

カラスばかりでなく、ムクドリやオナガがラズベリーやブルーベリーの実をついばんでいきます。ラズベリーを学生に味わってもらいました。しかし、あるとき、ラズベリーを学生に紹介したら、熟し始めた果実を一足先にムクドリにさらわれ、味わってもらえませんでした。

